九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」AQUA (Asia-Kyushu Advanced Medical Network)活動報告 : 第3巻

清水, 周次
九州大学病院

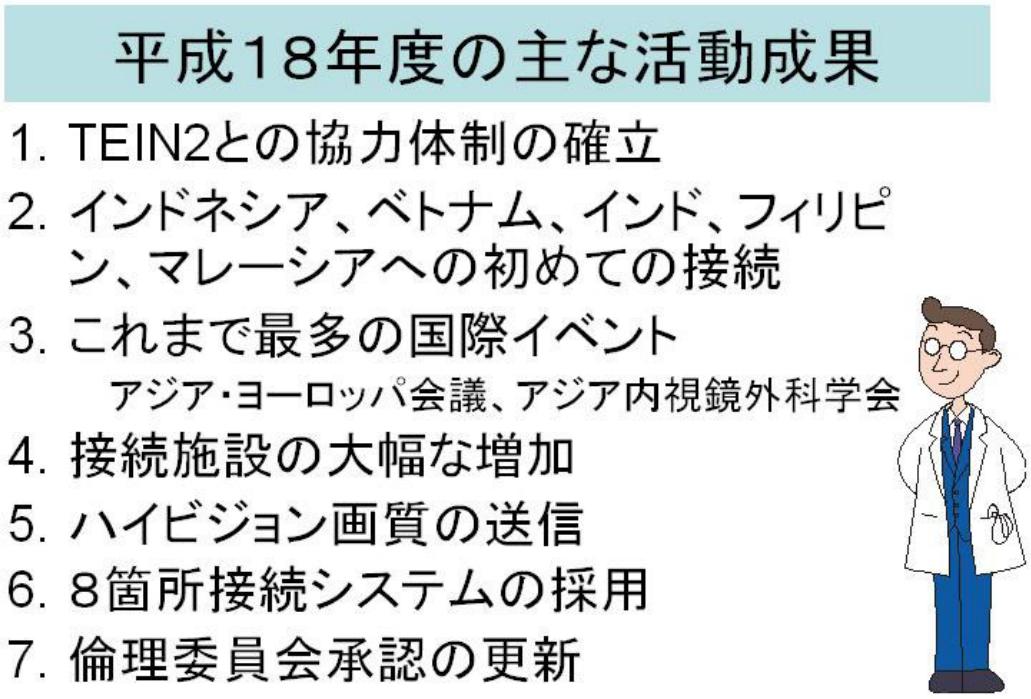
中島, 直樹
九州大学病院

https://doi.org/10.15017/8303

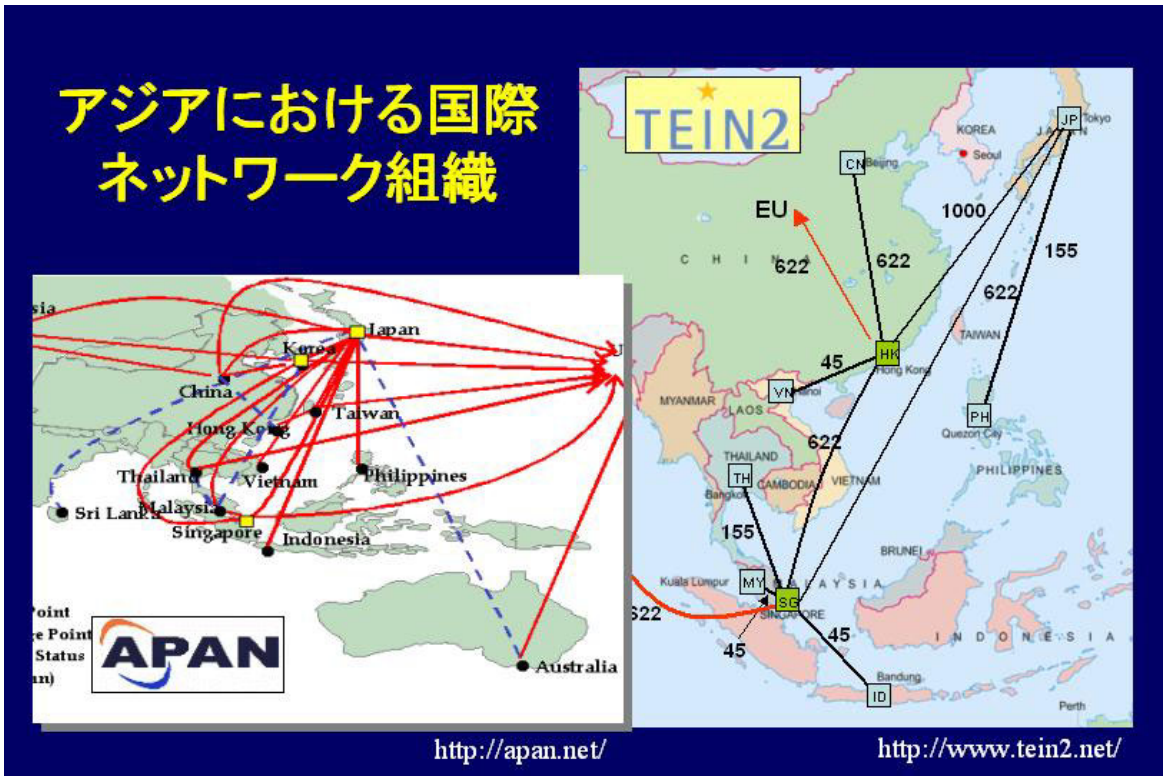
出版情報：「超高速ネットワークを利用したアジア遠隔医療プロジェクト」 TEMDEC活動報告. 3, pp.1-152, 2007-04. AQUA事務局
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

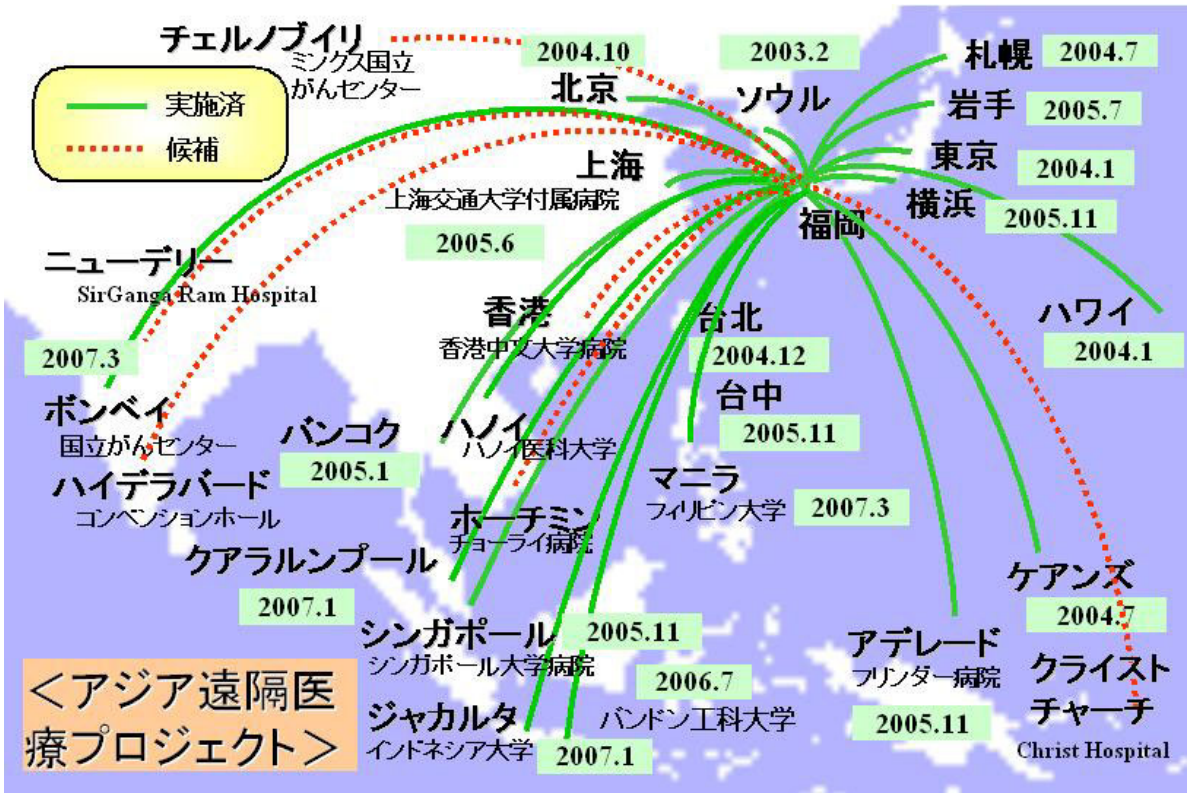
2. 本年度の成果



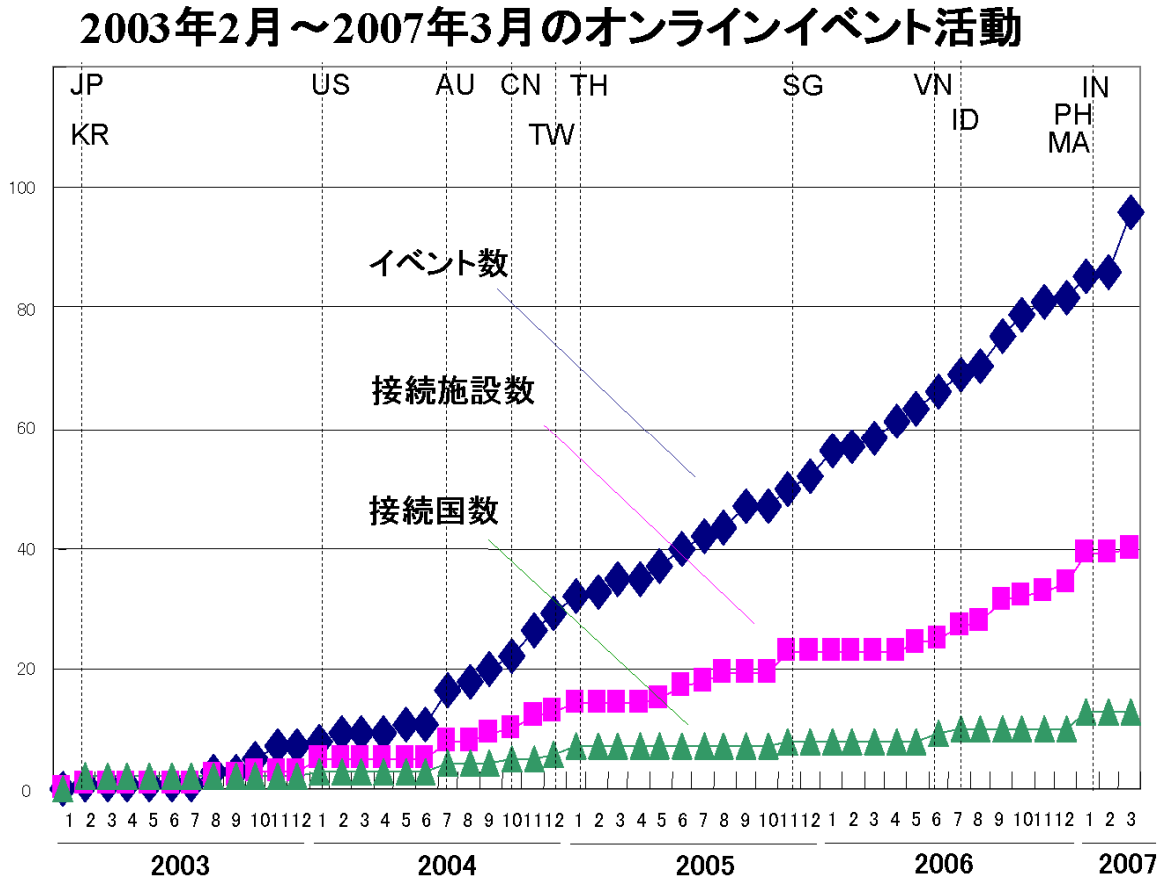
平成 18 年度の主な成果を列挙します。



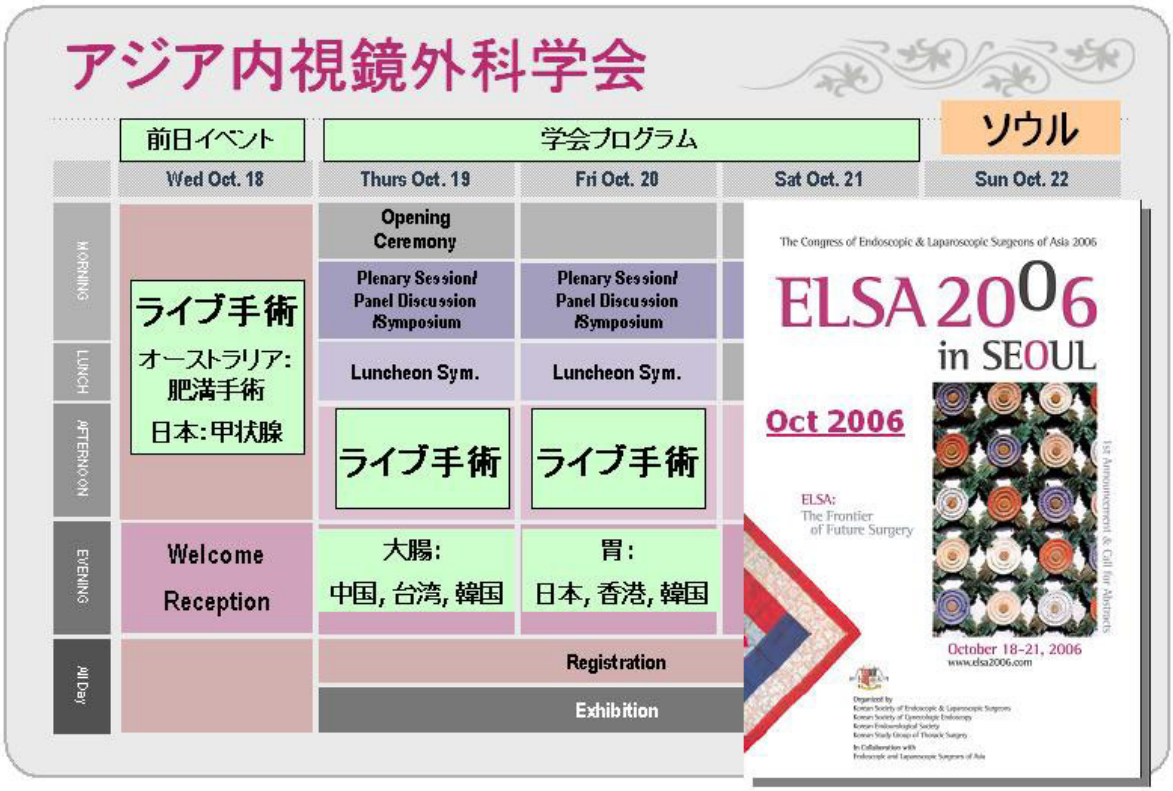
アジアには APAN (Asia-Pacific Advanced Network)と TEIN2 (Trans-Eurasia Information Network 2)と呼ばれる 2 つの大きな国際ネットワーク組織があります。



本年度までに接続が完成した所は緑色の実線で、また現在準備・協議中の所は赤色の破線で示されています。



本年度も順調な伸びが見られ、イベントの数はまもなく 100 回を数えます。



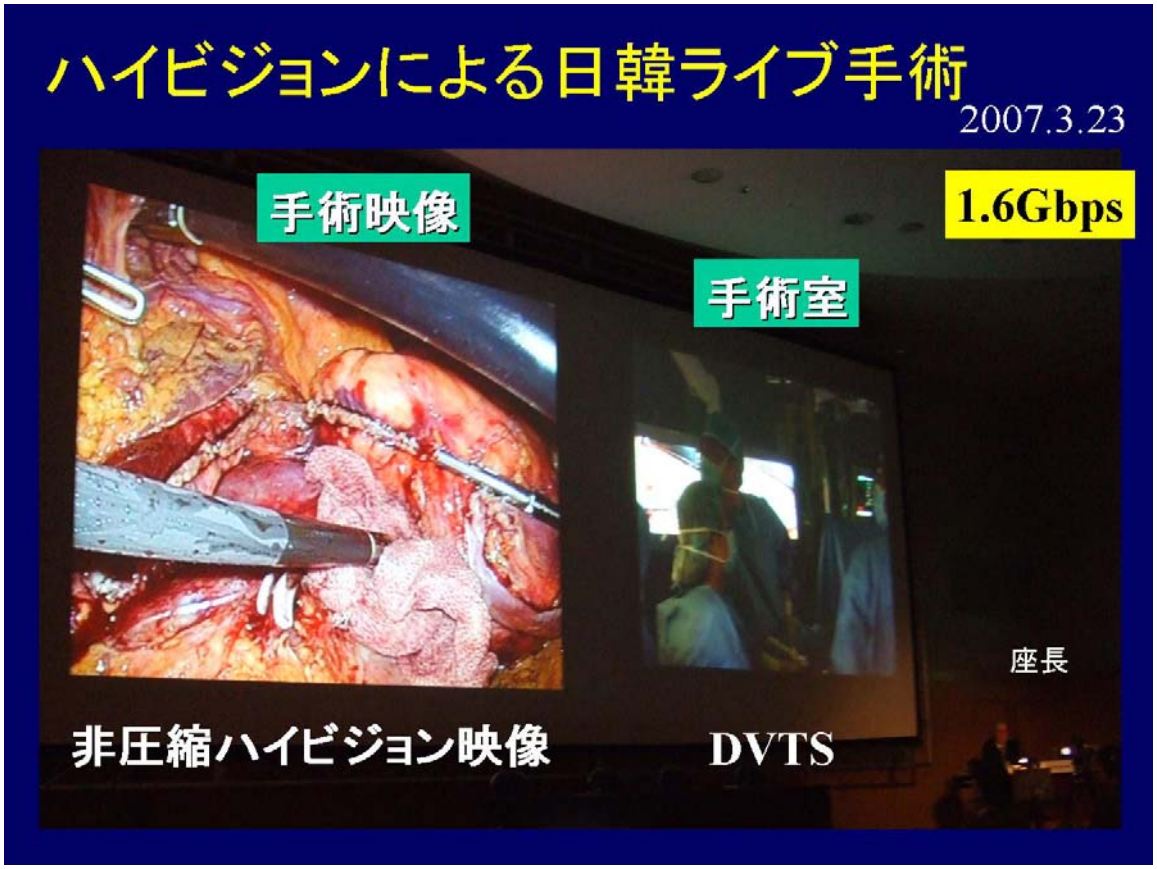
本年度の活動の中でも最も大きなイベントの一つが、10 月にソウルで行われた ELSA でした。連日、ライブ手術の配信が企画されました。

会場には多くの液晶モニターが設置され、最高の画質で映像を供覧することが出来ました。会場は、参加者で満員でした。

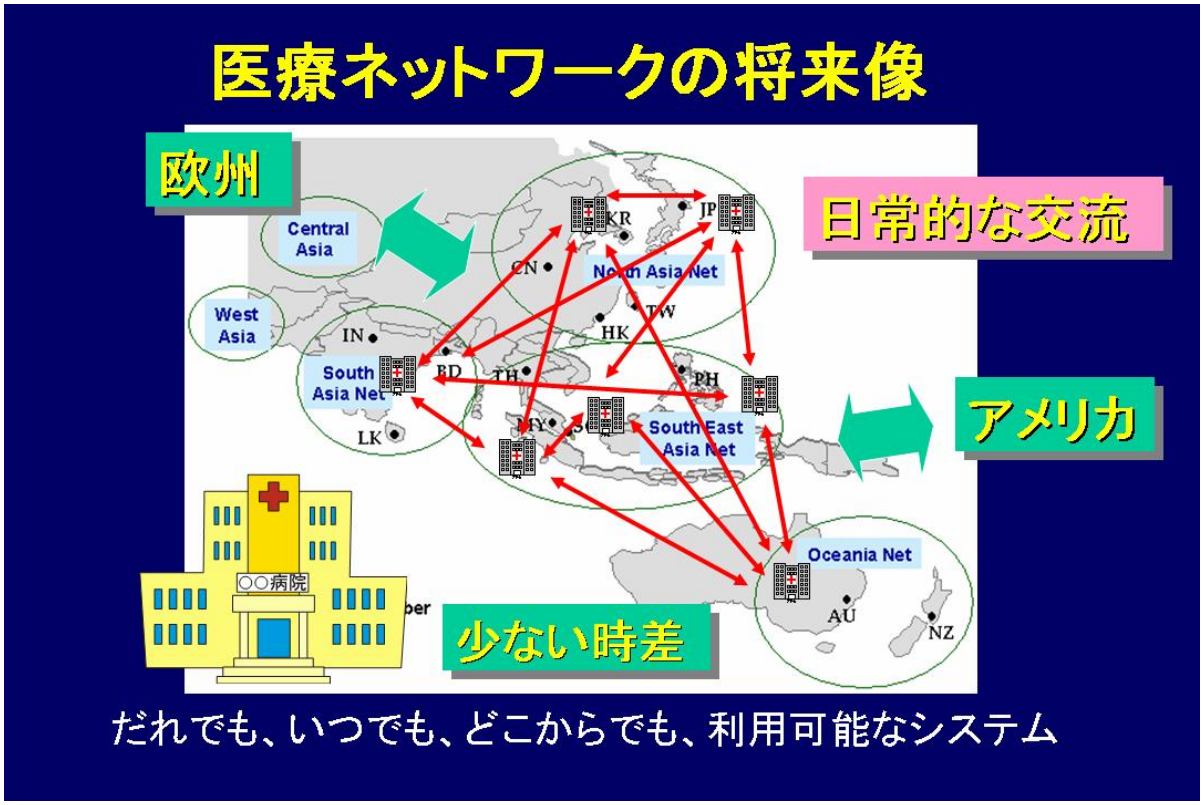
6 月にベトナムのハロンで行われたアジア・ヨーロッパ会議の政府高官会議は、ベトナムへの高速インターネット回線接続を祝うものとなりました。

ソウル大学本院へも研究・教育ネットワークが開通し、記念講演会が行われました。

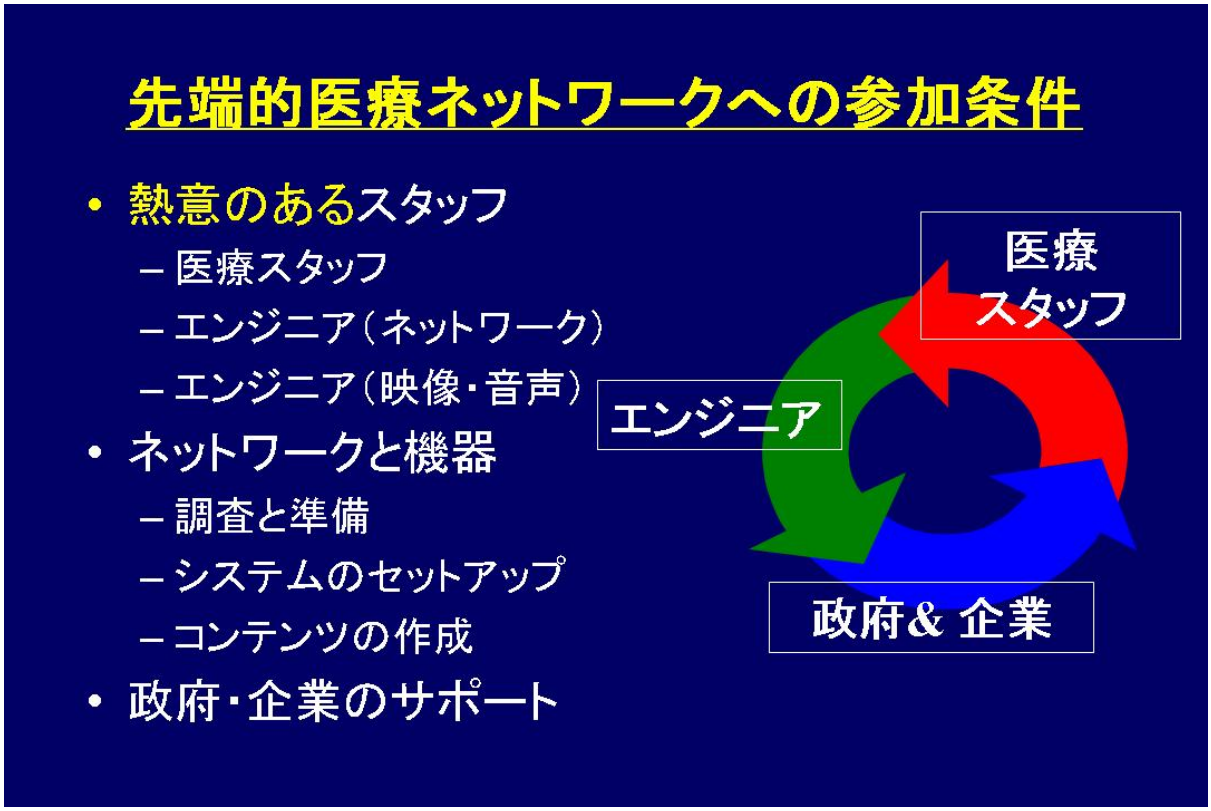
マニラの APAN では、8 箇所を接続して鳥インフルエンザに関するテレカンファレンスが行われました。



第 1 回アジア太平洋肝胆膵学会では、ソウル大学ブンダン病院から福岡国際会議場へ、ハイビジョン画質（非圧縮）でライブ手術映像が配信されました。



アジア中の病院を接続して、いつでも利用可能なシステムを作ることが目標です。



このプロジェクト推進のためには、熱意のある医療スタッフと共に、エンジニアの人たちや政府・企業の方々との協力関係が重要です。